

令和5年度山口大学工学部入学試験問題

一般選抜（後期日程）

小論文

試験時間 90分

注意事項

（問題冊子）

- 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- 問題冊子は、表紙を除き10ページまであります。
- 試験終了後、問題冊子は持ち帰って下さい。

（解答用紙及び下書用紙）

- (1) 解答用紙1枚と下書用紙が1枚、合計2枚あります。
- (2) 試験開始の合図があるまで解答用紙を開いてはいけません。
- (3) 解答用紙の指定された箇所に受験番号、氏名を記入し、解答に必要なこと以外は記入しないで下さい。
- (4) 解答用紙は、試験終了後回収します。試験室から持ち出してはいけません。
- (5) 下書用紙は持ち帰って下さい。

（その他）

問題冊子、解答用紙の落丁・乱丁などあれば、手を挙げて監督者に知らせて下さい。

「ICT とデジタル経済の変遷」に関する以下の文章を読み、後の設問に答えなさい。なお、本文中の図に併記してある n の値は、各項目のサンプリング数を表している。

著作権保護の観点から
問題文は掲載していません

著作権保護の観点から
問題文は掲載していません

著作権保護の観点から
問題文は掲載していません

著作権保護の観点から
問題文は掲載していません

著作権保護の観点から
問題文は掲載していません

著作権保護の観点から
問題文は掲載していません

著作権保護の観点から
問題文は掲載していません

著作権保護の観点から
問題文は掲載していません

著作権保護の観点から 問題文は掲載していません

出典：総務省、令和4年版情報通信白書

第1部「特集 情報通信白書刊行から50年～ICTとデジタル経済の変遷～」, 第1章第5節「2015年ー現在:ICTの社会・経済インフラとしての定着」および第2部「情報通信分野の現状と課題」, 第3章第8節「デジタル活用の動向」より抜粋・一部改変。

著作権保護の観点から問題文は掲載していません

問1 図1の①～⑤は、2010年～2021年にわたる、様々な情報通信機器の世帯保有率を表している。④はモバイル端末全体の世帯保有率である。②、③および⑤が、それぞれ何の世帯保有率であるかを本文中の説明を参考にして下記から選び、記号を答えなさい。(計18点)

- A. 固定電話 B. スマートフォン C. タブレット端末 D. パソコン

問2 図2より、2017年と2021年における平日1日の「テレビ(リアルタイム)視聴」と「テレビ(録画)視聴」の平均利用時間の和、および、「ネット利用」の行為者率がそれぞれ最も大きく変化(絶対値)した年代を下記から選び、その記号を答えなさい。(計12点)

- A. 10代 B. 20代 C. 30代 D. 40代 E. 50代 F. 60代

問3 図2において、「テレビ(リアルタイム)視聴」の行為者率と「ネット利用」の行為者率の大小を比較する。

全年代を例に取ると、2017年では「テレビ(リアルタイム)視聴」の方が「ネット利用」を上回っているが、2018年には、「テレビ(リアルタイム)視聴」の方が「ネット利用」よりも低くなり、大小関係が逆転している。

ここで、各年代別で見た場合、「テレビ(リアルタイム)視聴」と「ネット利用」の行為者率の大小関係が、2021年に初めて逆転したのはどの年代(本文中の(あ)に当てはまる年代)か? 下記から最も適切な年代を選び、その記号を答えなさい。(6点)

- A. 10代 B. 20代 C. 30代 D. 40代 E. 50代 F. 60代

問4 図4の②および③に入る最も適切な項目名を下記の選択肢から選び、記号を答えなさい。(計12点)

- A. 個人情報やインターネット利用履歴の漏洩
B. インターネット依存
C. 迷惑メール
D. 架空請求やインターネットを利用した詐欺
E. 電子決済の信頼性
F. コンピューターウイルスへの感染

問5 電子行政サービスの利用が困難な理由として、諸外国と日本ではどのような回答がそれぞれ最も多かったか? 諸外国について20字以内、日本について10字以内で、本文中より書き抜きなさい。(計20点)

問6 図7は、ドイツ、米国、日本および中国における「デジタル化の目的」を示している。本文中の説明から凡例①および④にあてはまる国名を答えなさい。(計12点)

問7 日本企業と米国企業のデジタル人材確保に向けた取組を質的側面から調査した結果では、両国企業間でどのような特徴が見られると考察しているか? 本文中の表現を用い、60字以内で説明しなさい。(なお、括弧や句読点も1文字として数える。また、説明に必要不可欠な部分以外は省略しても構わないが、説明不足とならない様に注意すること。)(20点)